

ドクターの「なりたい!」を支えます

JAMMJC JOURNAL

ジャミック ジャーナル
OCTOBER
2010 10
VOL.30 NO.10

<http://www.recruit-dc.co.jp>



開業特集

“勉強しておけばよかった”第一位は「労務」!

勤務医時代にしておきたいこと

本音満載! 開業医の匿名座談会

- 開業企業特集
- 開業物件情報

特集記事

地域医療再生のキーワード
日常診療に役立つ漢方の最新情報(前編)

開業・転職の
資料請求
できます!

ジャミックジャーナル 検索

転職情報

408
件

今月の特集

- 内科医として働く
- 整形外科・
リハビリ科で働く
- 埼玉県・群馬県で働く

漢方の最新情報 (前編)

日常診療に役立つ

日本漢方生薬製剤協会の2008年の調べでは、医師の98.1%が漢方の処方経験を持ち、調査時現在も83.5%の医師が「漢方薬を使用している」と答えています。ただその一方で「使い方が難しい」「エビデンスが十分でない」「効果が不十分」といった声も少なくありません。漢方は今、科学的根拠に基づく医療 (EBM)、そして、一般臨床に応用可能な「わかりやすい」医療への転換を図ろうとしています。2号にわたり、漢方をめぐる昨今の動きとともに、日常臨床に役立つ漢方処方をご紹介します。

慶應義塾大学医学部漢方医学センター
センター長 渡辺 賢治氏

1984年慶應義塾大学医学部卒業、内科学教室入局。東海大学医学部免疫学教室助手、米国立スタンフォード大学漢方学教室ポスドク、クワラルフェロー、米国立スタンフォード大学サードインスティテュート分子細胞学教室ポスドク、クワラルフェロー、北里研究所東洋医学総合研究所、慶應義塾大学医学部東洋医学講座准教授を経て2008年4月より現職。日本内科学会総合内科専門医、米国内科学会上級会員、日本東洋医学会漢方専門医・指導医、WHO temporary advisor。



最新の医療情報技術を駆使し経験値を可視化し、個別エビデンス構築を

背景を均質化するRCTは
個別化治療の漢方にそぐわない

同じ病気であっても一人一人に対して治療が異なるのが漢方の特徴です。診断・治療のベースにあるのは、人間の身体はさまざまな部分が有機的につながっているのだという考えです。

たとえば漢方では「水毒」といって頭痛・めまい・立ち眩み・車酔い・吐き気などは、いずれも同じ原因によるものと捉え、根っこにある「水毒」を正すことよって、不快な症状を一気に治そうというのが漢方治療です。

西洋医学のゴールドスタンダードである無作為化比較試験 (RCT)。漢方にRCTが少ない理由は主に3つあります。まず第一に、個別化医療であること。二番目に症状がつかないこと。三番目は患者の主観を重んじる医療であり、検査値などの客観的資料で評価しにくいことです。西洋医学の病名や診断で漢方研究を行うには矛盾と限界が伴います。

多数例を集めてランダムに振り分けることで患者背景が均質化できるとの

発想で行われるRCTは個別化かつ全人医療である漢方の特性と相反するため、期待される結果が得にくいという実情があります。その結果、ネガティブになったデータが世の中に出てこないという出版バイアスを生じています。

データマイニングの手法を用いた個別化医療の基盤作りに着手

RCTはある一つの仮説を立て、その正否を多数の被験者を集めて検証する手法で、コンピュータ技術によりデータさえあれば、仮説設定から検証までの作業すべてが可能で、このデータマイニング (掘り起こし) の手法を用い、漢方の特性を生かした研究を試みたのが、平成22年度厚生労働科学研究費補助金研究「漢方の特性を利用したエビデンス創出と適性使用支援システムの構築」です。

漢方薬にふさわしい臨床研究と科学的根拠の構築が、ヒトゲノム解析に携わる数学者やコンピューター専門科学者の参画で具現化され始めたのです。具体的には、自動問診システムによって愁訴を中心とした個々の患者の症状とその動きを入力し、医師が漢方の診断に当たる「証」と西洋医学の病名、

処方情報を入力することでデータベースを構築し、経時的なデータマイニング解析を加えることによって、治療効果の個別予測を可能にします。「ある疾患に対してある漢方薬を投与した場合、その患者がどの程度良くなるか」が予測できます。すなわち「葛根湯が風邪にどれくらい有効か」といった従来型の集団に対するエビデンスではなく「この人に葛根湯はどのくらい効くのか」という個別的な医療情報を提供できるのです。

分子標的治療薬の登場により、がん領域も個別化医療へ向かっていますが、究極に患者さんが知りたいのは「私に効くか、効かないか」です。元来、究極の個別化医療である漢方は、新時代の医療情報の仕組みを構築するのに最適なポジションにあるといえます。

なおこうした試みは、これまで医師の経験知に依存してきた漢方的診断 (証) を可視化するだけでなく、症状・所見・検査などのつながりで解析する (オントロジー) ことよって、我々専門家も気づかなかった新たな関係性を発見する可能性も秘めています。これらの研究がすすむほど、漢方は21世紀の科学と融合した新しい形に生まれかわる可能性を秘めていると思います。漢方処方方の経験が豊富でない医師にも、漢方が非常に処方しやすいものになると期待されます。

実践編

一疾患に4〜6種の使い分け 一剤効かなくてもあきらめない

漢方の専門家が初診患者に必ず行なうのが四診です。すなわち、顔色や舌の状態など視覚による診察 (望診)、声や咳嗽、口臭など聴覚・嗅覚による診察 (聞診)、症状の訴えや既往歴・家族歴などの問診、脈や腹部に触れて診察を行なう切診です。漢方薬の処方に当たり四診を行なうことが理想ですが、患者の話聞くだけでも7割程度は判断可能です。

漢方には、エキス剤と生薬があり、それぞれメリット、デメリットがあります。まずは便利で導入しやすいエキス剤から始めるのが現実的でしょう。

基本的に漢方は副作用がほとんどないので、4〜5種を一度に処方することさえなければ「専門家でないと思えないのではなかいか」と考えずに、積極的に処方して頂きたいと思えます。

ただし、①甘草、②附子 (トリカブト)、③麻黄 (動悸、胃腸障害、高齢者では尿閉を起こすことがある)、④大黄 (下剤) はいずれも、過量にならないよう注意が必要です。

また、ある薬を処方して効果が見られなかったとか、何らかの副作用が疑われるときは、中身に目を通すこともステップアップのポイントです。たとえば下痢の訴えがあれば、大黄を含む

製剤を避ける、などです。

我々専門医は一つの疾患に対して10〜20種の薬を使い分けますが、一般の総合診療科であれば4〜6種くらいを使い分けられれば十分だと思います。

漢方には必ずその人に合った薬があります。一度効かなかったからといって、そこであきらめてしまわないことです。漢方好きは最初の頃に著効例に出会った人に多いといわれますが、漢方の腕が上がるか否かは、ここで一歩踏み出せるかどうかにかかっています。

痛みや感染症も 実は漢方の得意分野

人間の身体は、一見関係なさそうに見えても、さまざまところで有機的につながっているため、漢方が効かない症状や疾患の領域は存在しないといっても過言ではありません。

漢方は各種の不調のおおもとを正す効果を狙っているため、慢性疾患や不定愁訴を得意とするイメージが強いのですが、感染症など急性疾患の治療やインフルエンザ予防にも有効です。

また、意外に思われるかもしれませんが、「痛み」は漢方の得意分野です。漢方には去杖湯というものがあり、その名の通り、服用すると痛みが消えて杖が要らなくなるという効果を持っています。ぎっくり腰が漢方で改善することもしばしばあります。

慢性関節リウマチ

関節痛を緩和するために麻黄と附子が用いられる。初期の炎症 (腫脹・熱感) を伴う場合には麻黄の配合された「薏苡仁湯」「麻杏薏甘湯」「越婢加朮湯」といった処方を用いる。いずれも麻黄による胃腸障害には要注意であり、また、動悸をきたす場合にもすぐに中止が必要である。局所の炎症があまり強くなく、冷えや低気圧により悪化する痛みに対しては「桂枝加朮附湯」などの附子剤が用いられる。抗リウマチ薬や生物製剤によって痛みがコントロールされている場合には「補中益気湯」を併用することで、免疫的な改善を図る。変形が進行し、筋力低下を伴うようになったら「大防風湯」「十全大補湯」などが適応になる。

変形性膝関節症

高齢社会においてよく見られる訴えであるが、水太りタイプで局所の炎症 (腫脹・熱感) が少なく、水がたまりやすいタイプには「防己黄耆湯」が適応になる。体力がある人で局所の炎症が強く、腫脹・熱感を伴う場合には「越婢加朮湯」が適応になる。しかしながらしばしばこの二つを組み合わせることで著効する例もあるので、難治例には試す価値がある。ただし、「越婢加朮湯」は麻黄が6g/日含まれており、胃腸に触ることがあり、食欲不振や胃もたれをきたすようであれば中止する必要がある。変形が進み、筋力低下のある場合には「大防風湯」や「桂芍知母湯」などがよい。

今回は...主に痛みに焦点を絞ってご説明します。

腰痛

物理的変形による腰痛には限界があるが、神経を圧迫している局所の瘀血 (循環障害) や水毒 (むくみ) を取ることで改善できることが多い。高齢者の腰痛には「八味地黄丸」か、八味地黄丸に牛膝・車前子を加えた「牛車腎気丸」を試してほしい。少し物足りない場合には附子末 (1.5g/日程度) を加えることで、痛みが緩和されることも多い。もしくは「桂枝茯苓丸」を加えることもある。飲酒や冷え、疲労で痛みが増強する場合には「疎経活血湯」がいい。去杖湯といわれる「芍薬甘草湯」は筋肉を弛緩させ、痛みを軽減するには重宝であるが、甘草6g/日が含まれているので、偽アルドステロン症をきたす可能性もあり、頓服が好ましい。むくみ、高血圧をきたした場合は中止して電解質のチェックをする。

後編 (11月号) では...

運動器以外の疾患や症状に対する処方例をご紹介します。さらに漢方の最新情報も発信いたします。